

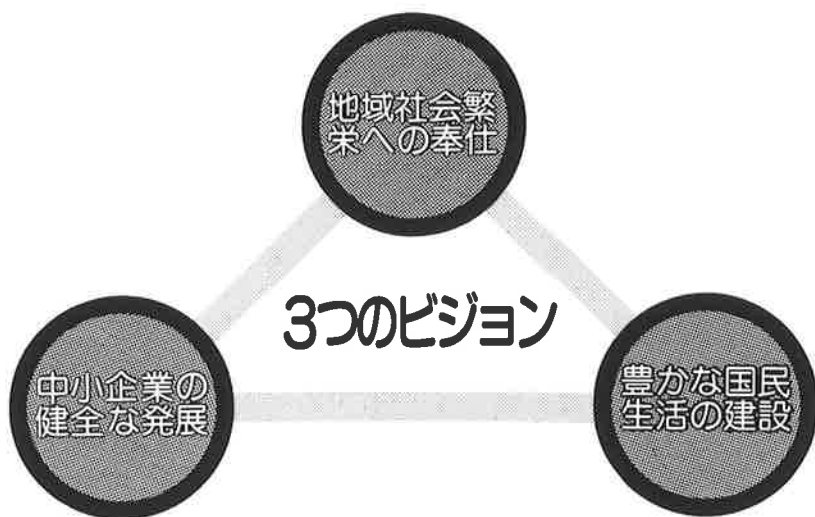
ともしえ No.54



■函館商工会議所報■

1985 6月号

豊かさを
地域に築く
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	尻岸内支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

●とせえ・54号目次●

巻頭言 1

会議所だより 2

調査レポート 6

アドバイスコナー 10

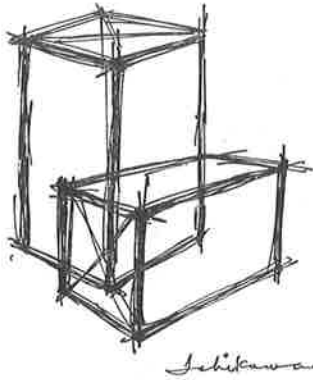
寄稿文 12

ご存知ですか 14

事務局日誌・新入会員ご紹介 17

ティータイム 18

告知板 20



●巻頭言●

西歴二十一世紀になんなんとする歴史的発展過程のなかで、人類は三つの産業革命を体験することになりました。第一の産業革命は「ワット」による蒸気機関、「ハーグリーブス」による紡織機の発明を契機とした人力から機械力による生産革命が展開したことに象徴される大きな変革であります。

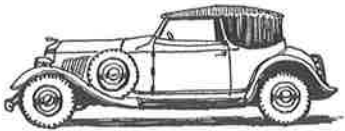
第二の産業革命は第二次世界大戦中に開発された軍事技術を戦後において民需品の生産に技術移転し、多くの商品が大量生産システム化されたことであり、第一次産業革命を上回るスケールとスピードに加え質的変革をもたらしました。

第三の産業革命はエレクトロニクス革命によって代表される変革であります。エレクトロニクスそれ自体の量質両面での技術革新性が新素材産業の誕生をもたらし、関連効果を上げながら新しい第三次産業革命の幕が切っておとされました。

ただ今、秀峰筑波山のふもとで科学万博つくば95が開催されております。二十一世紀の鼓動を始めた夢の未来都市がそれぞれの科学をテーマに興味ある技と演出の競演が繰り広げられております。「人間・居住・環境と科学技術」をメインテーマに、人類のあるべき姿と科学技術との関わりを深めようと英智を絞った創意工夫の結晶がいろいろにまつたパビリオンは言わば科学技術の玉手箱であります。

三つの産業革命の歴史を勉強し、一刻も早く未来と握手するよう科学万博の見学をすべきではないだろうか。

会議所 だより



Shingo

長い国の短い旅――

ハリファックス親善の翼に参加して

昭和五十七年十一月二十五日、ハリファックス市（カナダ）と函館市が国際姉妹都市を締結しましたが、昨年十二月にセントメリー大学助教授ハーマン・F・シュインド氏が来函し、ハ市が六日間にわたり「日本函館週間」を全市的に展開する計画を表明、函館側の参加協力を要請し



ノバ・スコシア州開発局の特別バスで産業経済視察に向う益山議員

ました。また、本年四月にはハ市ウオレス市長夫妻が来函し、柴田市長、川田本所会頭などを表敬訪問されました（本誌五十三号掲載）が、函館側はこの要請に応え、柴田市長（団長）をはじめ市内経済界ほか各種芸能、スポーツ団体、公募の市民など百人余によるハ市親善訪問団を結成し、六月一日成田を発ち、二日から四日までハ市で開かれた「日本函館週間」の諸行事に参加して、両市民相互の経済、文化の親善交流を果たし相互理解を深めて五日トロント市経由七日無事帰函しました。本所からは川田会頭の代理として村瀬副会頭、益山、小笠原、松本（演）、加地、山内各議員が参加し、経済界の交流に務めました。益山議員（北海道電力㈱函館支店長）から現地の様子を次のように知らせていただきました。

はじめに

学校では、カナダは日本の約二十七倍、世界第二の広い国と教えられてきた。私は、この度の「ハリファックス親善の翼」に参加して、私のイメージの中のカナダを、カメラのレンズで焼きつけたように、自分の眼で確かめてみた。

成田を飛び立ったカナダ太平洋航空、このC・P・AIRが一週間の旅行の送迎をしてくれた。まず、バンクーバーまで約八時間、バンクーバーからトロントまで約四時間二十分、トロントからハリファックスまで約一時間五十分、結局約十四時間でハリファックス空港に降り立った。ハリファックスからは、バンクーバーよりロンドンが近いと地元の人言う。地球というりんごを三等分して、その二片を食べ終えた感じなのである。そしてバンクーバーからトロントまでの道は、また米加の国境でもあった。カナダはこの六千キロの長さの幅二百キロの帯の中に、長々と伸びていたのである。

一、ハリファックス市での歓迎

私達の一行は、柴田市長を団長にして九十九人、経済、文化芸能など



経済関係者懇談会であいさつする村瀬副会頭
(ハリファックス商業会議所で)

大略六つのグループに分れた大きなツアーであった。
平坦な緑をそだけ切りさいたように伸びているハリファックス空港に着いたのは、現地時間で六月二日正午であった。ちようど函館は六月三日の深夜午前零時で、時差を考えると、誠に便利な十二時間の差で、以後、私の時計は、同時に函館とハリファックスの時刻を刻み、姉妹都市をこのような形で実感にしてくれた。
空港では、少年少女の音楽隊の演奏を背景にして、先月来函したハリファックス市長ウオーレス氏が、

ジャパン・ウィークの胸章で迎えてくれた。ここでの歓迎式典から、ハリファックス市の多忙な三日間が始まった。

日中の分刻みのスケジュールに追われて、夜を迎えると、ノバ・スコシア州総督、ハリファックス市長、ノバ・スコシア州首相それぞれの盛大なレセプションがあり、宴席に、市の文化団体の民謡、コーラス、日本舞踊、琴が同時に開催されていた日本週間に花を添えた。忙しいスケジュールと長旅の疲れの交錯する中でハリファックス市民のいつも絶やさない笑顔が私達をこの上なく勇気づけてくれた。現地でのくらしい滞在するかと良く聞かれ、三日間だと答えると、クレージーだと驚きあきれ返った顔を見た。カナダでは、少くとも週の単位で時間を持ち、日本人は日の単位でしか時間を持っていなかった。更に同行の旅行社の方は時間で、マスコミの方は分で時間を切る超多忙、超過密スケジュールに、ただ追われた三日間であった。
二、ハリファックスでの経済交流
江差追分の尺八の音に市民が酔いしれるころ、私達、経済団体のグル



フェアビュー・コンテナヤード
'82.7. 供用開始した。

ープは経済交流の種をまき、実をとろうとしたが、実質的な経済交流には長い距離が示すように、長い時間が必要だと思われた。一行の中にマスコミの方が約六キロの機材を空輸するのに二十万円以上の輸送コストがかかったというのが距離の現実であった。

六月三日、経済交流は、まずノバ・スコシア州開発局のフレッチャー局長自らが、ホテルに向いて、スライド入りでノバ・スコシア州の産業経済、資源について熱っぽく説明したが、ノバ・スコシア州の未来に

大きな夢を感じたものの、現実の日本向けの約一千三百万ドルの輸出がこれ以上に急増するには程遠いものに思われた。産業経済視察の見学には州開発局差し回しのV・I・Pバスと明示されたバスで見学に入っており、同日の午後の港内遊覧で見た海浜リゾート地区を思わせる高級住宅地との対照が、いつまでも異和感として残った。

同日午後、経済懇談会が昼食会の形で行われ、ハリファックス側はウオーレス市長、ラッドフォード商業会議所会頭以下各業界の代表が出席し、函館側は柴田市長、出町市議会議長、村瀬副会頭が出席し、和やかなうちに開催された。特筆すべきは、日加経済交流の重要性から、菊地日本大使、柿沼総領事以下の現地高官も出席し日加経済交流の展望を模索した。

思えば約二年前の姉妹都市協定調印以来の念願であったハリファックス市への訪問団派遣、長い道程のように、長い交流は、これからの姉妹都市としての共存共栄の一里塚にこの旅行を位置づけなければならないだろう。

ミスター土方 維新行列

約七万人の観客楽しむ

第16回五稜郭祭

箱館五稜郭祭協賛会主催による第十六回箱館五稜郭祭が五月十一日（碑前祭）、十七日（前夜祭）、十八日・十九日（本祭）の四日間に行われ盛大に挙行されました。同祭は、幕末から明治にかけてのわが国が近代国家に移り変わっていった当時の様子を史実に基いて再現し、



五 稜 郭 祭

実施されている全国でも珍しい歴史祭りですが、今年も好天に恵まれ、本祭のパレードには両日を合わせ約七万人の観客（同祭実行委発表）が沿道を埋めつくしました。今年には箱館戦争にゆかりの深い土方歳三生誕百五十年にあたることから、

ら、これを記念し協賛事業として「ミスター土方」コンテスト、パネル展「土方歳三と箱館戦争」映画会「燃えよ剣・主演 栗塚旭」、その他多彩な催しが実施されましたが、コンテストで選ばれたミスター・準ミスター土方のほか、映画等で数多くの土方歳三を演じた俳優の栗塚旭さんもパレードに参加し、祭りの盛りあげに一役かかっていました。今後この祭りが市民の盛り上がりによって更に大きな祭りになることが、期待されます。

川越勝美さんら十一人

生命共済促進功績者表彰

函館商工会議所生命共済事業推進功績者表彰式が、五月二十七日本所会議室で開催され、優秀な成績をおさめた各受託保険会社外務員（後記）に川田会頭から感謝状と記念品が贈られました。

会員の皆様の加入をお願いします。
〔受賞者〕
三井生命保険（相） 函館支社
川越勝美・田中准一
第一生命保険（相） 函館支社
山口ミツ・指田綾子・佐藤ふみ子
日本生命保険（相） 函館支社
下山八重子・玉野敦子・猪股みな子
中村恭子・乙山圭子・佐藤恵子

祐 齋

函館市宝来町22-13

本店 ☎22-1522・22-4886 丸井今井地下館コーナー ☎53-1151(内線401)

いよいよよ「ワープロ教室」開講

OA時代に対応する技術者を養成

本商工会議所では、地域経済振興の一環として多年にわたり簿記、珠算、販売士などの商工技術の発展普及につとめ、昭和四十三年から函館簿記学校を開設して、すでに多数の修了生を実社会に送り出しております。

最近の情報処理分野での技術進歩は非常に著しいものがあり、特にワードプロセッサ(文書作成機)の普及はめざましく、各方面から講習会、教室を開催するようにとの要望が非常に強く、このたびワープロ教室を開設することになりました。

OA時代に対応する技術者(オペレーター)を養成することは、新時代にむけての商工業振興には不可欠の問題であり、今後いっそうのお役に立ち得るものと確信しております。なお、講習内容、開講日等について次の通りお知らせ致します。

〔講習内容〕 日本語ワードプロセ

ッサとは、簡単に言うともマイコンを内蔵した日本語文書作成機です。

操作は簡単、自由自在に編集・校正ができ、しかも、一度使った文書を何度でも活用できます。

本教室は、短期間で効果的に修得できるよう、キメ細かな指導で初心者の方にもわかりやすく教えます。また、実務文書を例に一人一台のマシン実習により、体験を通して身につけていただくカリキュラムとなっております。

〔開講日〕 昭和六十年七月八日

(月)から

〔コース〕 午後三時から五時

①火・木コース

午後六時から八時

②月・水コース

③火・木コース

〔受講料〕 一万二千元(教材込み)

み)

〔受講時間〕 二時間の四回(二週)

〔定員〕

間で終了)

各コースとも五人

(但し申込者多数の場合、翌々週にさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください)

〔修了課程〕

日商検定試験三級程度の能力が得られます。

〔申込先〕

◎函館商工会議所
函館市若松町十五

一七―六十一

(拓銀ビル六階

理員課

電話☎一八一

番内線五三)

◎函館商工会議所別館

函館市大手町三一

二十一

(電話☎八九一五

番)

〔教室所在地〕

函館商工会議所別館

函館市大手町三一

二十一(市電)魚

市場前)

(株) クロレライト 函館

函館市若松町10番11号

☎(0138) 27-4330

食品卸問屋 本村かまぼこ

函館朝市本店/函館市若松町11-14
流通センター/函館市西桔梗町589

☎(0138) 23-1033(代)
☎(0138) 49-3007

一巡気味ながら、6月に漁解禁を控えたイカ刺網の生産本格化や秋サケ定置網の見込み生産等により定時操業を維持。

(建設関連)

補助金削減一括法案の国会採決が難航し5月央に漸く成立したため、公共工事の発注は管内主要官公庁とも前年を大幅に下回っている状況。

(農業)

春先の融雪が順調に進んだことから、農作業・生育状況とも平年比幾分早目となっている模様。

(漁業)

ここ数年低迷していた日本海マス漁は、低水温の関係から例年よりオホーツク海への北上が遅れているため、今のところ水揚げ量が前年を上回っているうえ、価格的にも日・ソサケマス交渉難航に伴う出回り減から高値で推移。

(小売商況)

4月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは日曜日が前年比1日少なかったにもかかわらず、主力の衣料品が婦人ガジュアル物中心に堅調な動きを示したほか、コンピュータ、住宅機材(エクステリア等)等の売り上げ増もあって、比較的好伸した前年並み(前年比 $\oplus 0.1\%$)実績を確保。5月入り後も夏物セーター、ブラウスなど婦人衣料等を中心に順調な動きを示している。

一方、耐久消費財では、乗用車販売がディーラーの期末拡販の反動落ち等から再び前年を下回った(4月中乗用車新車登録台数前年比 $\Delta 9.8\%$)ほか、家電製

品も冷蔵庫がやや持ち直し気味ながら、カラーテレビ、VTR等を中心に全体としては引き続き不冴えの展開となっている模様。

(観光)

ゴールデンウィーク中の観光は、好天に恵まれたうえ桜の開花が重なったこともあって、各行楽地とも花見客等で賑わったほか、宿泊施設や交通機関も前年を上回る実績を上げるなど、総じて好調に推移。

3. 金融事情(4月中)

○管内金融機関の実質預金は、退職金の流入増等がみられたものの、期末協力預金や前月末休日高どまり分の剥落から一般法人預金が大幅減少を示したほか、公金預金も落ち込んだため、月中298億円の減少(前年219億円減)となった。

一方貸し出しは、卸・小売、建設業、地方公共団体等を中心に期末貸進んだ決済資金の返済が嵩んだため、月中320億円減と前年(245億円減)を3割方上回る減少を示した。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は比較的低位な短期つなぎ資金の回収進捗から月中 $\oplus 0.016\%$ の上昇(前月 $\Delta 0.043\%$)。

○銀行券は、月央から月末にかけて、国鉄退職金支給増や連休の行楽現金需要増を主因に増発をみたため、月中11億円の発行超(前年同2億円)。

○財政収支は、申告所得税を中心とする税収の受け入れがあったものの、国鉄退職金や公共事業関係費の支払い増加から月中払超額は186億円と前年(同124億円)をかなり上回った。

統計資料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高(10店) 昭和60年3月

品目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣身	2,896,130	82.2	101.1
雑品	527,442	85.0	96.8
家庭用品	781,943	83.6	99.6
食料品	817,536	89.9	99.3
食堂・喫茶	1,645,854	87.8	95.3
サービスの他	188,962	81.5	95.6
その他	75,742	97.5	107.8
その他	342,267	116.0	133.7
総額	7,275,876	85.9	100.1

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパースブラザ湯の川店の各店をいう。

4月

昭和60年5月29日発表

金融経済概況

日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、業種により区々の動きとなっているが、全体としては引き続き緩やかな拡大基調を続けている。すなわち、公共工事発注遅れのセメント・生コン、原魚不足の飼料・魚油、受注不振の珍味加工、合板機械が小幅減産体制を継続、また電子部品でも需給緩和傾向を反映して増産テンポを鈍化させているが、需要好調な製缶機械、化学肥料、乳加工品が増産体制を強化しているのをはじめ、造船が親会社の繰り回し受注による新造船の建造本格化から5月以降久方振りにフル操業体制へ移行したほか、段ボールも盛業期から高操業を続けている。

この間、個人消費面では、大型小売店の売り上げは衣料品中心に堅調な売れ行きを示しているが、乗用車、家電製品等の耐久消費財は引き続き不冴えな展開が続いている。また、ゴールデンウィーク中の管内観光は好天に恵まれたうえ桜の開花が重なったこともあって、かなりの賑わい振りを示した。

金融面では、需資落ち着きの中で期末貸進んだ決済資金の返済が嵩み4月中の貸し出しは前年同月を上回る減少となった。管内銀行の4月の貸出約定平均金利は比較的低位な期末決済資金の回収進捗を映して小幅上昇。

2. 主要業種別動向

(造船)

新造船部門では親会社からの受注繰り回しにより4月央以降2隻の大型船(26千トン級B.C船)を建造中であるほか、修繕船受注も官庁船、北洋トロール船など引き続き順調なためさらに操業度を引き上げており、5月には56年以来久方振りにフル操業体制へ移行。

(電子部品)

米国向け輸出の伸び悩み等から半導体の需給引き緩み傾向が一段と進展、256KDRAM等高性能機種を増産を図っているが、価格低下の著しい低集積度普及型メモリーの生産抑制を強化しているため、全体の増産テンポは引き続き鈍化の方向。

(珍味加工)

末端実需が鈍いうえ、本州方面の梅雨入りを控え問屋筋が当用買い姿勢を強めているため、荷動きは低調で小幅減産体制を継続。

(化学)

飼料・魚油では、更年後の生産調整により製品在庫はほぼ適正水準に戻っているが、北転船スケトウ漁の早目の終漁に伴う原魚手当難から減産継続。化学肥料は、農作業の順調な進展とともに荷動きが一段と活発化しているうえ、大口スポット輸出の船積み進捗もあって、一部製品で在庫が払底状態となったことから、時間外操業の拡大等により増産体制を強化。

(機械)

製缶機械は、ビールメーカー等の新容器製造競争熾烈化を映し、受注が引き続き好調で受注残高も膨れ上がっているため、時間外操業や外部発注をさらに拡大。合板機械は、一部国内大手合板メーカーの新規注文(広・針葉樹併用高級機種)やインドネシア向け輸出成約が入るなど受注は幾分持ち直し気味ながら、受注残高がなお適正水準を下回っていることから、小幅減産体制を継続。

(段ボール)

日・ソサケマス交渉難航から北洋船団向け出荷が遅れているが、市況持ち直しの春掘馬鈴薯や作柄良好の春野菜向け荷動きが好調なことから、時間外操業の小幅拡大により生産水準を引き上げ。

(乳加工品)

主力粉乳、練乳の需給地合いが逼迫傾向にあるうえ、冷菓、飲料水の季節的需要期入りも加わって増産テンポは一段と上昇。

(漁網)

北転船減産等から底曳網の生産・出荷が依然低調なうえ、鮭鱒流し網の生産も

方の主力食料品では214億8,434万円、同1.6%の増と伸び率が鈍化している。

4. 新車登録台数

59年度の函館管内新車登録台数は、24,809台で前年度より389台、1.5%の減と2年ぶりに前年度を下回る実績となった。

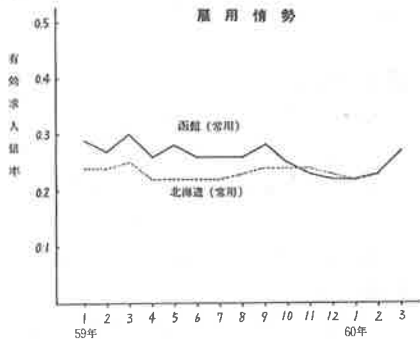
車種別の内訳では、底固い需要の続く普通乗用車、軽自動車がそれぞれ、17,433台（前年度比3.9%増）5,268台（同12.4%増）と伸び率こそ鈍化しているが一応堅調に推移、前年度に引き続き落ち込みの目立つ貨物・その他が2,108台で43.4%の減と前年度を大幅に下回った。

5. 雇用情勢

59年度の函館職業安定所管内の月平均有効求職者数（常用）は7,441人で前年度より2.8%の減少、また月平均有効求人数（常用）は同10.6%減少の1,881人で、有効求人倍率（常用）は0.25倍と前年度より0.02ポイント下降した。今年度は函館どつく並びに下請関連企業からの大量離職者が出たこともあり、一段と厳しさを増す雇用状況となった。

一方、新規学卒者（60年3月高校卒）の就職状況は、求職者数2,880人（前年度比1.8%減）に対し、管内求人数が1,682人（同15.5%減）で管内求人倍率は0.58倍（前年度0.68倍）となり、就職者全体に占める管外就職者の割合は44.7%と過去5年間では最も高い比率となった。

(図一2)



6. 金融情勢

函館管内金融機関（都市及び地方銀行、相互銀行、信用金庫）の60年3月末現在の預金残高は、7,752億4,500万円（前年同月比6.3%増）、これに対して貸出総残高は5,462億

5,600万円（同7.3%増）で預貸率は70.5%と前年同月に比べ0.7ポイントの上昇。預金のうち定期性預金は5,710億8,900万円（前年同月比6.2%増で預金残高に占めるウェイトは73.7%となり前年同月に同じ。また貸出金のうち設備資金は1,309億7,400万円（前年同月比4.3%増）で貸出金に占めるウェイトは24.0%で前年同月より0.6ポイント下降している。

一方、預金についての年度間増加額は456億7,900万円の前年度より153億3,000万円の増加。貸出金についても増加額は369億9,700万円の前年度を82億8,400万円上回った。

7. 企業倒産

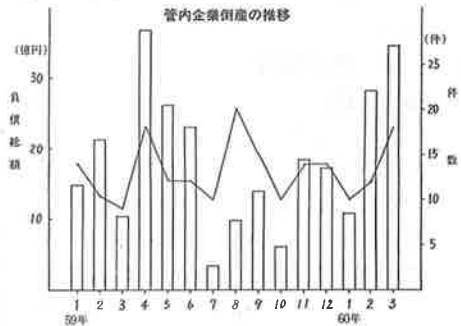
59年度の函館管内企業倒産（負債額1,000万円以上）は165件で前年度より22件の増加、負債額228億6,300万円の前年度に比べ3億2,000万円、1.4%の増加と資金調達力に乏しい中小零細企業を中心に不況型倒産が多発した。

業種別にみると、製造業26件、49億3,700万円、建設業37件、35億3,600万円、卸売業24件、59億円、小売業47件、29億7,800万円、飲食業5件、1億8,000万円、その他26件、53億3,200万円と件数では小売業（前年度建設業49件）、負債額では前年に引き続き卸売業が最も多くなっている。

倒産原因では不況型の業績不振が82件で全体の半数を占め、次いで放漫経営48件、連鎖12件、信用低下10件、設備過剰4件、その他9件となった。

また59年度の函館市内不渡手形発生状況は人員が317人で前年度より14人の減少、枚数が615枚で同29枚の増加、金額では3億2,302万円と同1.5%減少した。

(図一3)



経済の窓

昭和59年度

函館地域の
経済動向

昭和59年度の函館管内経済動向は、公共投資が2年連続の実質減となったのをはじめ、一部回復基調で推移した民間設備投資や建築投資が景気のけん引的役割りを果たすまでには至っておらず、個人消費についても所得の伸び悩み等から盛り上がり欠けるなど、回復の足どりは重い。

企業の生産活動は、引き続き好調の電子部品以外では、好天に伴う農業豊作の波及により、段ボール等一部関連業種が高操業となったが、受注環境の厳しい造船をはじめ、セメント等素材産業は低調に推移。企業の業況感も業種による跛行色をさらに強めている。

1. 公共事業発注状況

昭和59年度の函館管内公共事業発注額は、道、市の関連予算が減少したため、総額で590億1,300万円で、前年度実績を2.6%、15億5,500万円下回った。また高率の前倒し実績は例年同様で、第1・四半期(59年6月)までに54.6%、第2・四半期(59年9月)までに81.3%の発注を終了している。

機関別に見ると、函館開発建設部が216億700万円(前年度比3.2%増)で、道路事業86億9,800万円(同2.0%減)、港湾事業46億5,600万円(同10.7%増)漁港事業29億8,400万円(同0.4%減)、土地改良事業27億7,300万円(同7.1%増)、その他24億9,600万円(同9.6%増)。

また函館土木現業所は229億700万円(前年度比4.0%減)で、内訳は道路事業64億5,900万円(同11.8%増)、漁港事業93億6,000万円(同5.9%増)、河川事業25億700万円(同26.0%増)、その他45億8,100万円(同35.1

%減)。

函館市の発注額は144億9,900万円(前年度比8.1%減)。部局別では、土木部42億5,300万円(同4.2%増)、都市建設部12億7,700万円(同0.6%増)、下水道部24億9,000万円(同0.2%減)、港湾部4億5,300万円(同43.4%減)、教育委員会31億600万円(同72.2%減)、その他29億2,000万円(同45.1%)となっている。

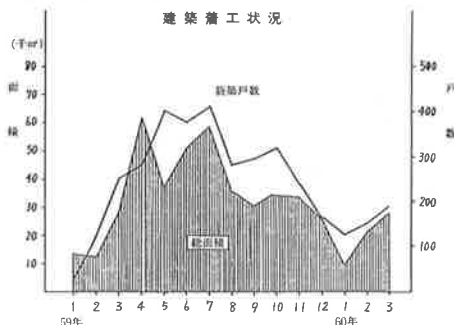
2. 建築着工状況

59年度の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が428,110㎡で前年度に比べ3.8%の増加、うち住宅部分は287,792㎡で同19.1%増加している。

また住宅総戸数は3,917戸で同13.8%の増加、内訳は新築住宅が3,247戸(同13.1%増)、増改築670戸(同17.8%増)となった。

このように59年度建築着工は、住宅建築を中心に回復基調で推移、床面積合計は5年ぶりに前年度を上回る実績となっている。

(図一)



3. 大型店売上高

59年度の函館市内第一種大型店売上高(ニトリ家具を除く)は、877億8,984万円で前年度より37億2,298万円、4.4%の増加と堅調。年度を通して天候に恵まれたこともあり、主力の衣料品が347億2,298万円(前年度比4.4%増)と好調だったのをはじめ、家電製品を中心に家庭用品も順調で92億311万円(同6.4%の増加)。他では身回品63億1,103万円(同2.0%増)、雑貨92億6,753万円(同4.9%増)、食堂・喫茶23億8,928万円(同1.3%増)、サービス7億8,626万円(同10.3%増)、その他35億5,204万円(同24.5%増)といずれも前年度を上回る実績となったが、もう一

ヒント

榮繁

ぴんと

成功事例に学ぶ
儲かる商売・儲かる発想法

限られた条件の中で

ベストをつくす

限られた条件の中で、地域のお店はどのようにして「戦」(たたかい)を展開しているか、さまざまな実例をご紹介します。

1 良いへの対策

●客の好みを知る方法

アンケートなどによる、大がかりなお客様の動向調査は、市役所・商会・商工会議所等の組織が行っていることは、皆様のご存知の通りです。

このような調査結果を踏まえながらお店ごとに独自の調査活動を展開する必要があります。

では、どのような調査活動を……ということになれば、一口で言えば、個々のお客様との対話活動ということになります。

一例を挙げましょう。

兵庫県下に「勝田電気」という電気屋さんがあります。このお店では人件費の省力化と乾電池の売り上げアップを狙って、店の前に乾電池の自動販売機を設置しました。

予想通り、四六時中販売できるおかげでまたたく間に売り上げは倍増しました。ところが、気がついてみると、お店の中に足を踏み入れるお客様の数が——ウラを返せば、お客様との対話量が半減していました。つまり情報量が半減していたのです。そこで、せっかく設置したこの自動販売機を思いきって撤去し、暗く

なって飛びこんでこられるお客様向けに、営業時間外でも、お気軽に呼び出して下さい。という旨の張り紙を出しました。

その結果は、思わざる情報入手の成果となって現われました。

親切なお店」というイメージ作りで役立ったこともあり、来店者の数も増えました。当然お客様の声に接する情報量が増え、特に閉店後に訪れるお客様のもたらすホンの情報の成果は大きかったようです。

例えば、付近の団地では、今年は赤ちゃんの出生率が高く、窓という窓にはおむつの満艦飾(まんかんしよく)ですネーなどと心やすく話して帰ったお客様の言葉(情報)にヒントを得て、早速梅雨時にかけて電気乾燥機の宣伝チラシを配り、一軒ごとに訪問販売を試みたところ、前年同月の三十%の売り上げ増をマークすることができました。

また、岩手県下では、付近の学校で給食にケチャップをトマトピューレに切りかえることにした、という給食係の方の話聞き、店頭の陳列をガラリと変えて、このピューレを前

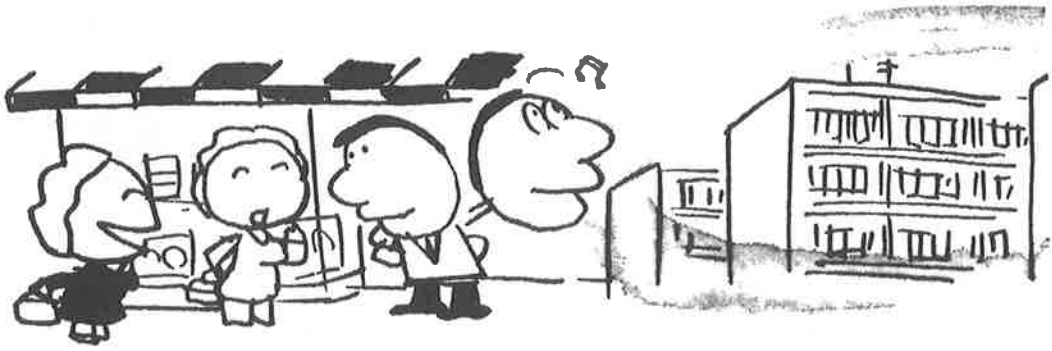
クリーンなエネルギーをおとどけしています。
ガス灯からビル冷暖房まで…



業務用ガス器具・セントラルヒーティング・厨房機器総合設備・設計製作施工

新函館都市ガス株式会社

北海道函館市万代町8番1号 代41-3175番



面に打ち出したところ、育ち盛りの学童を抱えたご家庭からとても好評を博したという、ある酒屋さんの生（なま）の声も聞きました。

さらに、長野県下のさる民宿では、「山の頂（いただき）で、まぐろの刺身などを出すのは愚の骨頂（こつちょう）」というお客様のお叱りを受けて、それ以来地元で取れる鯉の洗（あらい）に切りかえたところ、お客様たちにとっても喜ばれるようになった、という真面目な声も聞きました。

このように、私が全国各地を回ってみて、直接うかがったさまざまなお店の成功例はまことに枚挙にいとまがないのです。

2 安いへの対策

●安く有利に仕入れる方法

大型店の強大な吸客力を利用して、大量販売、大量仕入れを敢行し、安い仕入れに成功した花屋さんがあります。

東京、板橋の住宅街に、突然大型店が出店したため、中心地にある商店街の買物客の流れがすっかり変わってしまいました。客足は遠のき、後藤花屋さんの場合も売り上げが半減

してしまいました。当然、仕入れ量も少なくなり、不利な仕入れに甘んじなければならなくなります。

客寄せの妙手はないものかと思案していた時、「土日の大型店の駐車場はまるでラッシュアワーのようになる」といった奥様の話がひとつのヒントになりました。そのお客様を狙った花は売れるはず、お客様を待つのではなく、お客様のいる所に

出掛けて行こうと考えました。幸い、駐車場前に空地があり、持主とも話がついて、ワゴン車による「簡易花屋」を二週間後に開設することが出来ました。

大型店の来客数が増えれば、それに比例してワゴン花屋の売り上げも上がります。まさに小判鮫商法とはこのことです。

今では、その日市場に出たベンジーを、後藤花屋さんが全部おさえてしまうなど、強気の仕入れをし、活気のある商いを展開しています。

さて、お店が団結することによって「安い仕入れに成功、更に小規模店からスーパーへと驚異的な成長をすることが出来た、あるグループのお話をしましょう。次号に続く

■外装 テント
■貸 テント

■日除 天幕
■各種 テント

■自 動 車 幌
■販 売 製 作

有限会社 坂内 テント

〒041 函館市昭和4丁目33-25 ☎ 42-8955(代)



ニュービジネス戦略

システム研究センター理事長

工学博士 片方善治

一、ニューメディアと事業機会のかまえ方

社会はいま大きく変化している。事業機会、変化が大きいときにこそ大きい。問題はその機会をどのようにしてつかみ、伸ばすか、である。機会のつかみ方はいろいろあるが、新しい道具だてとの関連でつかむ方法がある。いまは、ニューメディアという新しい道具だてが話題になっている。

さて、このニューメディアをニュービジネスに結びつけるにはどうしたらよいか。ニュービジネスといっても、大企業といわれるものから小さな事業までいろいろある。はじめから実業の名にふさわしいものから、産業を積み上げたり、小さな仕事を数多く寄せ集めたりして実業になるものまで、いろいろな形があ

る。しかし、まずこの多様な内容に注目することである。ニュービジネスには、世の中の「いきおい」が必要である。しかし、その「いきおい」を冷静に受け止めないと、足もとをすくわれてしまう。ニューメディアを活用してどのようなニュービジネスが可能であるか、視野を広げ、十分に検討してみる必要がある。

二、五つの分野の検討と三つの視点

ニューメディアによるニュービジネスは、次のような五つの分野にあると考えてよいだろう。

- (1) まず通信事業の分野であるが、日本電信電話㈱に民営化したのと並行して、民間企業の通信事業分野への参入が認められ、衛星通信をはじめVAN(付加価値通信網)は、まさにニューメディアによるニュービジネスである。LAN

(ローカル・エリア・ネットワーク)もまた、ニューメディアによる新事業として位置づけることができる。

- (2) 放送といえばラジオ、テレビのマス・コミュニケーションをすくに思い出すが、今後はニューメディアによって放送は多様化する。この放送の多様化が、第二の「未踏分野」に参入して新事業を展開しようとするなら、CATV(有線テレビ)あるいは双方向性CATVの分野ということになるであろう。
- (3) 通信と放送の複合する分野である。これにはさまざまなものが考えられる。たとえばテレビ電話は映像が映る電話であるが、このテレビに放送内容を映してテレビ受信機とすることも可能である。キヤプテンがその例である。

- (4) ニューメディアのハードウェアを中心としたものは、きわめて多様であり、通信・放送のさまざまな機器からOAマシンまでいろいろある。
- (5) ソフトウェアもまた多様であ

る。単にコンピュータのソフトウェアばかりでなく、ニューメディアのハードウェアのあるところにソフトウェアが必要となるのであるから、ソフトウェアのニーズは大きく、この分野は今後ますます有望になってくるに違いない。それらのニュービジネスは、当初、規模としては大きなものではなく、あるいは実業というよりは虚業といった方がよいような事業になる場合が多いかもしれないが、その芽生えに注目すべきである。

第一は、その小さな事業をチェーン展開して「小」を集積して実業としようかどうか。第二は、その小さな事業を大きく展開するのに段階的に現在のメディアの活用からニューメディアへ移行させていくことができるかどうか。第三は、ニューメディアおよび先端技術を十分に活用したとき、その小さな事業が実業として位置づけられるかどうか。この三点である。